



たもんじ交流農園 便り

Vol.3 2018年6月号

“たもんじ交流農園便り”は、農園であったいろんなこと、これから予定しているイベントや講演会、農園仲間の人となり等、たもんじ交流農園に関する様々な情報を、会員の皆様にお伝えする情報誌です。

農園は今、初夏真っ盛り！

梅雨の晴れ間の農園は、今まさに初夏真っ盛り、作物育ち盛りです。お日様とお水と私たちの愛情をいっぱい吸って、作物は皆生き活きと伸び、既に実がなっているものもあります。僅かな期間にどんどん大きくなる成長の早さには驚くばかり！！これから真夏にかけての成長がとても楽しみです(松本(静)記)。



溢れんばかりの畑も



てんなに大きくなりました



作業の間の「ごくごくタイム」



寺島なすも育ち盛り



日差しは既に真夏



コーンは阿部さんより高く



どの畑も成長が楽しみ

農園のお隣さん&農園キャラクターご紹介

- ① 自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 3-2

宇田川さん（親子三代）

① 親子三代で行います！宇田川です。母と娘、そして私。自然が大好きで自分たちで何かを育てていくというワクワク感と私たちにできるのかな…という不安な思いも持ちながら、知識ゼロで望んでおります。子育てと同じで1人ひとり、1つひとつ違う、育てて見なければ分からない、だからこそたくさんの愛情を込めて育てていきたいと思っています。

② 今、大根と寺島なす、ねぎ、オクラ、トマトを育てています。季節ごとに旬の野菜を育てていければとおもっています。

③ 3月に行ったピザパーティがとても楽しかったです！基本、みんなでワイワイと作って食べる！というイベントをこれからも行って欲しいと思います。あと、四季に合わせたイベントもいいと思います。春は、お花見パーティ。夏は花火を見ながら？(見えるかな?)夕涼み会。秋は、実りの秋。食欲の秋。たくさんの食材をつかってBBQ。冬はたき火？焼き芋パーティ。豚汁作り。など。できればいいですね。



④ とにかく知識ゼロで、やりたい気持ちで畑をスタートしました。やりながら、少しずつ学んでいければと思っています。私は保育士をしています。何を食べているのか分からず食べている子どもたちが多いため、元々の野菜の形、葉の形、そして、その野菜の花の形や色、どんな芽なのか？どんな種なのか？そのような食育も兼ねて、私自身が勉強し、これからの子どもたちに伝えていければと思っています。



ポクポク ポクサイさんは、ヒキガエルのお坊さん。ポクポク木魚を叩くので、ポクサイさんと呼ばれている。書画が得意。せっかくの農園をトイレがわりに使う野良猫のミケ・ラン・ジェロの三匹に手を焼いている。(ミケ・ラン・ジェロって? 芸術家? 次回7月号に続く!)



たもんじ交流農園開発に携わって 石部日出夫



墨田区と縁の深い作家・永井荷風が、百花園から(多聞寺のある)堀切あたりまで歩いた若き日を「樹木の繁った間に小川が流れ込む全くの田園だった」と回想しています(随筆「向嶋」)。百年ほど前、この地にはショウブの花咲く田んぼや畑が広がっていたわけです。

寺島ナスはじめ江戸野菜の栽培、イベントを通じた世代間の交流などいろんな「たもんじ農園」の目的の中で、いちばんの魅力は「墨田区にも農地を」という意気込みそのものだと思います。荷風は同じ随筆の中で、一帯がその後、都市化で悪臭漂う町に変じてしまったことを嘆いています。公害問題が遠い過去のものになった今、次なる目標として安心・安全・健康の基である農地を少しでも回復することは大変意義深く感じます。

昨年の秋以降、私もドクダミ退治、畑土盛り上げ作戦から始まって春野菜の栽培、収穫など実際に畑作りに参加でき、大きな手応えと喜びを感じました。たもんじ農園では今年も新たな区画作りも始まっています。この「すみだの夢」計画は今後、第2、第3の「墨田区に農地を」構想へとつながっていくに違いありません。「ア、こんな所にいつの間にか農園が」とびっくりする荷風の声が聞こえてくる気がするのは私だけではないのでしょうか(石部記)。



来月のたもんじ交流農園スケジュール

ますます楽しい たもんじライフ! 今後も月一で講演会かイベントを企画して参ります!!

7/29(日) 3~5時	講演会「江戸野菜の歴史」(大竹道茂先生)	江戸野菜の過去・現在・未来について、思う存分語って頂きます。どなたでもご参加OK。会費は500円(飲み物付)、農園会員の方は2名様まで無料とする予定です。講演会の後、大竹先生を囲んでの懇親会(有料)も予定しております。(会場は多聞寺寺務所)
-------------------------------	-----------------------------	--

てらたま協議会よりのお知らせ

ふるさと納税クラウドファンディングのお勧め

「たもんじ交流農園」創設事業は、昨年に引き続き今年度も、墨田区「すみだの夢」応援成事業」に、最高評価で認可されました。これは、墨田区が提供するふるさと納税を活用したクラウドファンディングで、ふるさと納税で集められた寄附金が、私たちへの助成金として交付されるというユニークな事業です。

ふるさと納税の一番の魅力は、自分が応援したい活動・団体・地域を自分の意思で選択できることです。年間の合計寄附金のうち2,000円を超える部分は、税の控除を受けることができます。2,000円を上回る(考えようによっては)返礼品ももらえるので、自分の思い入れのある地域・団体や活動を応援するには、お得で価値ある制度だと言えます。

本年度は、8月1日より、「ふるさとチョイス」サイト(インターネット)で寄附募集が開始される予定です。てらたま協議会へのご支援、ご協力方、宜しくお願い致します(小川記)。



昨年の返礼品の一例

